

カリキュラムマップ(大学院)

2025年度版(2025.4月作成)

専攻名:機械システム工学専攻

◎:CP達成のために特に重要な科目、○:CP達成のために重要な科目、△:CP達成のために望ましい科目

分類	授業科目の名称	前期	後期	CP①	CP②	CP③	CP④
				先端技術を含むより高度な専門知識を身につけさせ、活用する能力を育む。	論理的記述力、口頭発表力、討議能力をより一層向上させる。	博士前期課程においては、研究開発を進める上での一般的手法を理解させ、自ら研究を進め、より困難な課題に挑戦し解決する能力を身につけさせる。	博士後期課程においては、自立的研究経験と高度の専門知識および俯瞰的視野を持ち、自ら問題を設定して研究開発を企画・立案し、遂行できる能力を身につけさせる。
博士前期課程	高度実践英語	○		○	◎		
	科学技術論		○	◎	○	△	
	技術経営論 I	○		○	◎		
	地域産業論		○		○	△	
	技術経営論 II	○			◎	△	
	創造性開発研究		○			◎	△
博士前期課程	熱流体力学特論		○	◎	△		
	数理科学	○		○	○		
	エネルギー移動・変換工学特論	○		◎	○	△	
	熱工学特論		○	◎	○	△	
	CAD/CAM特論		○	○	◎	△	
	固体力学特論	○		◎	△	○	
	設計生産工学特論		○	◎	○	△	
	製品開発・設計特論		○	○	◎	△	
	高分子・複合材料学	○		◎	○	△	
	金属構造材料学		○	◎	○	△	
	熱流体工学基礎	○		◎	○		
	固体力学・設計生産工学基礎	○		◎	○	△	
	材料設計加工学基礎	○		◎	○	△	
	機械システム工学特別演習 I	○	○	◎	◎	◎	

分類	授業科目の名称	前期	後期	CP①	CP②	CP③	CP④
				先端技術を含むより高度な専門知識を身につけさせ、活用する能力を育む。	論理的記述力、口頭発表力、討議能力をより一層向上させる。	博士前期課程においては、研究開発を進める上での一般的手法を理解させ、自ら研究を進め、より困難な課題に挑戦し解決する能力を身につけさせる。	博士後期課程においては、自立的な研究経験と高度の専門知識および俯瞰的視野を持ち、自ら問題を設定して研究開発を企画・立案し、遂行できる能力を身につけさせる。
	機械システム工学特別演習Ⅱ	○	○	◎	◎	◎	
	機械システム工学特別研究	○	○	◎	◎	◎	

カリキュラムマップ(大学院)

2025年度版(2025.4月作成)

専攻名:知能ロボット工学専攻

◎:CP達成のために特に重要な科目、○:CP達成のために重要な科目、△:CP達成のために望ましい科目

分類	授業科目の名称	前期	後期	CP①	CP②	CP③	CP④
				先端技術を含むより高度な専門知識を身につけさせ、活用する能力を育む。	論理的記述力、口頭発表力、討議能力をより一層向上させる。	博士前期課程においては、研究開発を進める上で一般的な手法を理解させ、自ら研究を進め、より困難な課題に挑戦し解決する能力を身につけさせる。	博士後期課程においては、自立的研究経験と高度の専門知識および俯瞰的視野を持ち、自ら問題を設定して研究開発を企画・立案し、遂行できる能力を身につけさせる。
博士前期課程	高度実践英語	○			◎	△	
	科学技術論		○		◎	△	
	技術経営論Ⅰ	○			◎	△	
	地域産業論		○		◎	△	
	技術経営論Ⅱ	○			◎	△	
	創造性開発研究		○		◎	△	
	ロボットデジタル制御		○	◎		○	
	ロボット運動制御	○		◎		○	
	マイクロセンサ工学		○	◎		○	
	マイクロロボティクス		○	◎		○	
	認知情報科学		○	◎		○	
	聴覚情報処理	○		◎	△	○	
	パターン認識システム	○		◎		○	
	生体電磁環境工学	○		◎		○	
	計算論的神経科学		○	◎		○	
	応用統計学		○	◎		○	
	データ解析論	○		◎		○	
	先端材料加工学	○		◎		○	
	工業計量学		○	◎		○	
	波動情報処理		○	◎		○	
博士前期課程	光センシング法	○			◎		
	知能情報工学		○	◎		○	
	ヒューマンロボットシステム		○	◎		○	
	知的学習システム	○		◎		○	
	センサロボット工学	○		◎		○	

分類	授業科目の名称	前期	後期	CP①	CP②	CP③	CP④
				先端技術を含むより高度な専門知識を身につけさせ、活用する能力を育む。	論理的記述力、口頭発表力、討議能力をより一層向上させる。	博士前期課程においては、研究開発を進める上での一般的手法を理解させ、自ら研究を進め、より困難な課題に挑戦し解決する能力を身につけさせる。	博士後期課程においては、自立的研究経験と高度の専門知識および俯瞰的視野を持ち、自ら問題を設定して研究開発を企画・立案し、遂行できる能力を身につけさせる。
	知能ロボット工学特別演習 I	○	○		○	◎	
	知能ロボット工学特別演習 II	○	○		○	◎	
	知能ロボット工学特別研究	○	○		○	◎	

カリキュラムマップ(大学院)

2025年度版(2025.4月作成)

専攻名:電子・情報工学専攻

◎:CP達成のために特に重要な科目、○:CP達成のために重要な科目、△:CP達成のために望ましい科目

分類	授業科目の名称	前期	後期	CP①	CP②	CP③	CP④
				先端技術を含むより高度な専門知識を身につけさせ、活用する能力を育む。	論理的記述力、口頭発表力、討議能力をより一層向上させる。	博士前期課程においては、研究開発を進める上での一般的手法を理解させ、自ら研究を進め、より困難な課題に挑戦し解決する能力を身につけさせる。	博士後期課程においては、自立的研究経験と高度の専門知識および俯瞰的視野を持ち、自ら問題を設定して研究開発を企画・立案し、遂行できる能力を身につけさせる。
博士前期課程	高度実践英語	○		○	◎		
	科学技術論		○	◎	◎		
	技術経営論 I	○		○	◎		
	地域産業論		○		○	△	
	技術経営論 II	○			◎	△	
	創造性開発研究		○			◎	△
博士前期課程	情報工学基礎	○		◎		○	
	電子工学基礎	○		◎		○	
	人間情報工学		○	◎		○	
	ビッグデータ数理科学	○		◎		○	
	情報メディア通信工学		○	◎		○	
	集積回路特論	○		◎		○	
	パワーデバイス工学	○		◎		○	
	薄膜電子デバイス工学		○	◎		○	
	機能材料物性特論	○		◎		○	
	電波工学特論		○	◎		○	
	システム制御論		○	◎		○	
	光計測工学		○	◎		○	
	システム開発工学	○		◎		○	
	IoT・コンテキスト理解	○		◎		○	
	システムモデリング	○		◎		○	
	量子マテリアル工学		○	◎		○	
電子・情報工学特別演習 I	○	○			○	◎	

分類	授業科目の名称	前期	後期	CP①	CP②	CP③	CP④
				先端技術を含むより高度な専門知識を身につけさせ、活用する能力を育む。	論理的記述力、口頭発表力、討議能力をより一層向上させる。	博士前期課程においては、研究開発を進める上での一般的手法を理解させ、自ら研究を進め、より困難な課題に挑戦し解決する能力を身につけさせる。	博士後期課程においては、自立的研究経験と高度の専門知識および俯瞰的視野を持ち、自ら問題を設定して研究開発を企画・立案し、遂行できる能力を身につけさせる。
	電子・情報工学特別演習Ⅱ	○	○		○	◎	
	電子・情報工学特別研究	○	○		○	◎	

カリキュラムマップ(大学院)

2025年度版(2025.4月作成)

専攻名:環境・社会基盤工学専攻

◎:CP達成のために特に重要な科目、○:CP達成のために重要な科目、△:CP達成のために望ましい科目

分類	授業科目の名称	前期	後期	CP①	CP②	CP③	CP④
				先端技術を含むより高度な専門知識を身につけさせ、活用する能力を育む。	論理的記述力、口頭発表力、討議能力をより一層向上させる。	博士前期課程においては、研究開発を進める上での一般的手法を理解させ、自ら研究を進め、より困難な課題に挑戦し解決する能力を身につけさせる。	博士後期課程においては、自立的な研究経験と高度の専門知識および俯瞰的視野を持ち、自ら問題を設定して研究開発を企画・立案し、遂行できる能力を身につけさせる。
博士前期課程	高度実践英語	○		○	◎		
	科学技術論		○	◎	◎		
	技術経営論Ⅰ	○		○	◎		
	地域産業論		○		○	△	
	技術経営論Ⅱ	○			◎	△	
	創造性開発研究		○		◎	△	
	環境モデリング	○		◎	△	○	
	土壌水圏科学	○		◎	△	○	
	大気物理化学		○	◎	△	○	
	環境リスク管理工学		○	◎	△	○	
	環境応用生態学		○	◎	△	○	
	大気環境学	○		◎	△	○	
	廃棄物資源学	○		◎	△	○	
	物質循環解析学		○	◎	△	○	
	環境技術システム論	○		◎	○	△	
	水資源システム論	○		◎	◎	○	
環境エネルギーシステム学		○	◎	○	△		
環境政策学		○	◎	△	○		
応用土質工学		○	◎	○	△		
応用コンクリート工学	○		◎	△	○		

分類	授業科目の名称	前期	後期	CP①	CP②	CP③	CP④
				先端技術を含むより高度な専門知識を身につけさせ、活用する能力を育む。	論理的記述力、口頭発表力、討議能力をより一層向上させる。	博士前期課程においては、研究開発を進める上での一般的手法を理解させ、自ら研究を進め、より困難な課題に挑戦し解決する能力を身につけさせる。	博士後期課程においては、自立的な研究経験と高度の専門知識および俯瞰的視野を持ち、自ら問題を設定して研究開発を企画・立案し、遂行できる能力を身につけさせる。
博士前期課程	環境計画論	○		◎	△	○	
	流域保全学		○	◎	△	○	
	土木事業施工論	○		◎	○	△	
	建設マネジメント論		○	◎	△	○	
	インターンシップ	○		◎	○	△	
	環境・社会基盤工学特別演習Ⅰ	○	○	◎	△	○	
	環境・社会基盤工学特別演習Ⅱ	○	○	◎	△	○	
	環境・社会基盤工学特別研究	○	○	◎	△	○	

カリキュラムマップ(大学院)

2025年度版(2025.4月作成)

専攻名:生物・医薬品工学専攻

◎:CP達成のために特に重要な科目、○:CP達成のために重要な科目、△:CP達成のために望ましい科目

分類	授業科目の名称	前期	後期	CP①	CP②	CP③	CP④
				先端技術を含むより高度な専門知識を身につけさせ、活用する能力を育む。	論理的記述力、口頭発表力、討議能力をより一層向上させる。	博士前期課程においては、研究開発を進める上での一般的手法を理解させ、自ら研究を進め、より困難な課題に挑戦し解決する能力を身につけさせる。	博士後期課程においては、自立的研究経験と高度の専門知識および俯瞰的視野を持ち、自ら問題を設定して研究開発を企画・立案し、遂行できる能力を身につけさせる。
博士前期課程	高度実践英語	○		○	◎		
	科学技術論		○	◎	◎		
	技術経営論Ⅰ	○		○	◎		
	地域産業論		○		○	△	
	技術経営論Ⅱ	○			◎	△	
	創造性開発研究		○		◎	△	
	酵素化学工学	○		○	○	◎	
	応用生物プロセス学		○	◎	○	△	
	微生物工学	○		◎	○	○	
	生物有機化学		○	◎	○	△	
機能的食品工学	○		◎	○	○		
博士前期課程	植物機能工学		○	○	◎	◎	
	応用生物情報学	○		◎	○	○	
	製薬化学工学1	○		◎	○	△	
	製薬化学工学2		○	◎	○	△	
	バイオ医薬品工学1	○		◎	○	△	
	バイオ医薬品工学2		○	◎	○	△	
	生物・医薬品工学特別演習Ⅰ	○	○	△	◎	○	
	生物・医薬品工学特別演習Ⅱ	○	○	△	◎	○	
生物・医薬品工学特別研究	○	○	△		○	◎	

カリキュラムマップ(大学院)

2025年度版(2025.4月作成)

専攻名:総合工学専攻

◎:CP達成のために特に重要な科目、○:CP達成のために重要な科目、△:CP達成のために望ましい科目

分類	授業科目の名称	前期	後期	CP①	CP②	CP③	CP④
				先端技術を含むより高度な専門知識を身につけさせ、活用する能力を育む。	論理的記述力、口頭発表力、討議能力をより一層向上させる。	博士前期課程においては、研究開発を進める上での一般的な手法を理解させ、自ら研究を進め、より困難な課題に挑戦し解決する能力を身につけさせる。	博士後期課程においては、自立的研究経験と高度の専門知識および俯瞰的視野を持ち、自ら問題を設定して研究開発を企画・立案し、遂行できる能力を身につけさせる。
博士後期課程	総合工学特別演習	○	○	○	○		◎
	総合工学特別研究	○	○	○	○		◎
	ジョブ型研究インターンシップ	○	○	○	○		◎